

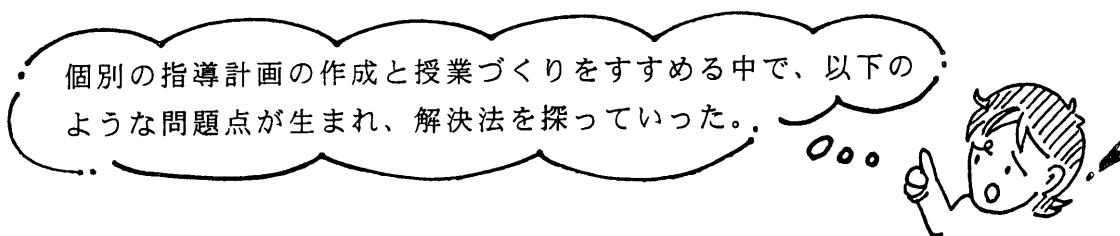
【3】小学部の研究の経過と取り組み

学びの宝庫の項目④

1. 研究の流れ (p.25の図1参照)

年度	取り組み
平成10年度	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の研究の検証（新たな場面での授業作りや支援のさらなる工夫） ・今回の研究のサブテーマの模索
平成11年度	<ul style="list-style-type: none"> ①研修 発達を学ぼう 「子どもを見つめよう、子どものことを語ろう」 ②授業実践 <ul style="list-style-type: none"> ・合同生活単元学習 「だんだんらんどであそぼう！」 ・クラス生活単元学習 小2組「つくってあそぼう」 ③個別の指導計画の試行
平成12年度	<ul style="list-style-type: none"> ①個別の指導計画作成についての検討と実施 ②研修 「実践を語り合おう」（一人一研究） ③授業実践 <ul style="list-style-type: none"> ・合同生活単元学習「だんだんらんどであそぼう！」 ・クラス生活単元学習 小3組「わくわくしゅくはく」
平成13年度	<ul style="list-style-type: none"> ①個別の指導計画の作成 ②授業実践 <ul style="list-style-type: none"> ・合同体育「ぼんぼんホッケー」 ・合同生活単元学習「だんだんらんどであそぼう！」 ・各クラスの生活単元学習 <ul style="list-style-type: none"> 小1組「おいしいさつまじるをつくろう」 小2組「パンやさんの車にいらっしやい！」 小3組「きらきらパーティーの出し物は何？」 ・実践集（本）の作成 ・評価の検討、まとめへ

2. 流れの中で見えてきた問題点



①個別の指導計画のフォームについて

・目標のすべてを細分化すれば、最重要課題が見えにくくなる。また、書くことのみにより労力をとられる。そこで、フォームの作成にあたっては、できるだけ簡素でわかりやすい表（A3一枚）を作成することとした。

②目標の設定について

- ・技能中心の表記になりがちで、こころの発達目標をどう表記するかが課題となった。そこで、総合目標に自分づくりの目標を入れることにした。

③家庭との連携

- ・年度始めの立案の際や家庭訪問・懇談の際には個別指導計画を保護者に提示して、共に子どもについて話し合った。また「自分づくり」の発達について説明を加えた。
- ・保護者から意見をたくさんいただくためには、何でも語り合える信頼関係が必要である。「何でも語ろう会」や保護者中心のお茶会などを持つことで、意見を出し合う場が増えつつある。

④授業づくりについて

- ・サブテーマである「個別の指導計画をもとにして」の「もとにして」にこだわりすぎて授業がつくりにくくなった。しかし、いろいろな授業づくりの形態があってよいことを共通理解しながら、「もとにして」ではなく「生かして」の方がふさわしいと確認した。
- ・個別の指導計画と毎回の授業のつながりが見えにくいという問題点が浮き彫りになった。そこで、個別の指導計画と授業をむすぶ中間の表（以下、「本時の個別目標一覧表Ⅰ・Ⅱ」と呼ぶ）を作成することにした。また、一人の個別の指導計画が、さまざまな資料や本時の授業にどのように関係しているのかを検証していった。その事例を以下に説明する。

3. 個別の指導計画を授業に生かそう ～「本時の個別目標一覧表Ⅰ・Ⅱ」を活用して～ 実践事例：「ぼんぼんホッケー」（合同体育）

ぼんぼんホッケーは、以下のような競技である。児童の実態・目標・支援の方法について共通理解を図るため、毎時間ごとに「本時の個別目標一覧表Ⅰ・Ⅱ」を作成した。

ぼんぼんホッケーってこんなんです！



ぼんぼんホッケーここが楽しい！！

- * 使用するぼんぼんは、カラフルで親しみやすい教具
- * 思い通りに操作ができる喜びを実感できる
- * 自分にあつた運動量を調整できる

- ① 赤・黄チームに分かれ、チームと同色のぼんぼん（赤30個・黄30個）を自陣のゴールに早く入れ終えた方の勝ち。
- ② スティックの代わりにほうきを使う。
- ③ 運べるぼんぼんの数は、1人1個。といった、簡単なルールでできる競技です。

<指導計画>

第1次	1. やるぞ!ぼんぼんホッケー!・・・(1)
	2. ちりとりマンでたあ〜!!・・・(1)・・・本時
第2次	3. ちりとりマンに負けないぞ!・・・(3)
	4. 兄の助っ人、ちりとりマン妹登場・・・(1)
第3次	5. ちりとりマン兄妹をやっつけろ!・・・(3)
	6. さようなら ちりとりマン兄妹!・・・(1)

本時の個別目標一覧 表Ⅰ

別紙1 本時の個別目標一覧

題材名: 合同体育「ぼんぼんホッケー」 第2時「ちりとりマンでたあ〜」

日時: 平成13年6月27日(水) 5校時

氏名	発達段階(通級等支援級別)					目 標						
	平成13年5月実施	運動	手	基	対	発	言	力	技	ル	コ	主
		移	手	基	対	発 <td>言 <td>力 <td>技 <td>ル <td>コ <td>主 </td></td></td></td></td></td>	言 <td>力 <td>技 <td>ル <td>コ <td>主 </td></td></td></td></td>	力 <td>技 <td>ル <td>コ <td>主 </td></td></td></td>	技 <td>ル <td>コ <td>主 </td></td></td>	ル <td>コ <td>主 </td></td>	コ <td>主 </td>	主
		動	動	本	人	語	理	い	上	約	友	や
		運	運	人	語	理	解	っ	手	束	達	っ
		動	動	関	語	理	解	ぱ	に	守	先	た
				係	理	解		い	で	ら	生	ー
				習	理			っ	か	う	と	!
				慣	解			こ	ら	!	一	!
								き	な		緒	!
								る			に	!
								う			お	!
								!			も	!
											し	!
											ろ	!
											い	!
											ね	!
											も	!
											っ	!
											と	!
中村真人	3:8 4:0	4:4	4:0	3:0	4:0			○				◎
西川藍衣	1:6 1:4	1:6	2:6	1:4	2:0						○	◎
佐々木大輔	2:4 3:0	3:0	3:0	1:6	2:3						○	◎
岡田幸司	2:4 4:0	3:0	3:0	1:9	2:3			◎		○		
村上正治	3:8 4:0	4:0	3:4	2:3	2:3				○	◎		
西垣拓人	3:8 3:8	4:0	2:0	2:6	3:0							
徳永康浩	3:8 4:0	4:0	3:4	2:9	3:4							

*氏名はすべて仮名です。

本時の個別目標一覧 表Ⅱ

(ルール) グループ

氏名	実 態	目 標	支 援
村上正治	・ゲームは楽しめるが、 気持ちが高揚すると、 乱暴になることがある。	・友だちにやさしく接しながら ゲームを楽しもう。	・イエロー、レッドカードで 行動が行き過ぎていることが 分かるようにする。 ・人に当たっても痛くないほ うき準備する。 ・トラブルのないチーム編成 にする。
豊田美千代	・やる気をもって取り 組める。 ・ルールがややわから ない部分がある。	・一つずつぼん ぼんを運ぼうね。 ・少しずつ速く 運ぼう。	・2個以上運んでいるときには 「一つずつね!」と声をかける。 ・「みちよさんお願い!」と、 速く運ぼうとする気持ちを盛 り上げる。
近藤博之	・勝敗に執着心があり、 相手にぼん呼んを奪わ れたり、邪魔されたり	・とられること もあるさ!	・ぼんぼんを奪われて癪癪を おこしている時には、「仕方 がない!」とか、「取られたら

目標の項目は、個別の指導計画に挙げられたねらいに即し、子どもの目標をあらいだしたものである。表Ⅰでは本時の一人ひとりの最重要目標、表Ⅱではその支援方法を記入した。このような一覧表を作ることによって、ひと目で児童の目標がわかり「一人ひとりの目標を頭に入れ、教員同士がフォローし合う」ことや「支援の共通理解」ができるようになった。

また、この表はクラス生活単元学習などさまざまな場面でも活用できた。

さらに、「本時の個別目標一覧表Ⅰ・Ⅱ」の作成によって、各授業の教科・領域的要素を考慮するため、教科・領域の関連性を考えやすくなった。

(4) 個別の指導計画と授業との関連

次に、一人ひとりの授業(本時)の目標と個別の指導計画との関係がどうなっているかを考えた。ここでは、こうじ君の事例を次ページに挙げる。(本城幸子)